

平成13年(2001年)マクロベントスの個体数は、全般に湾奥部(佐賀県側)、諫早湾、熊本沖等で少ない傾向がみられた。しかし、湾奥部においても個体数が15,000個体/m<sup>2</sup>を超える調査点もみられた。この調査点では、ヨコエビ類が82%を占め、その多くが泥質域で多くみられる *Corophium* sp. であった。この調査点を除いて考えると、マクロベントスの個体数分布は、底質の粒度組成と比較的対応したものとなっていた。

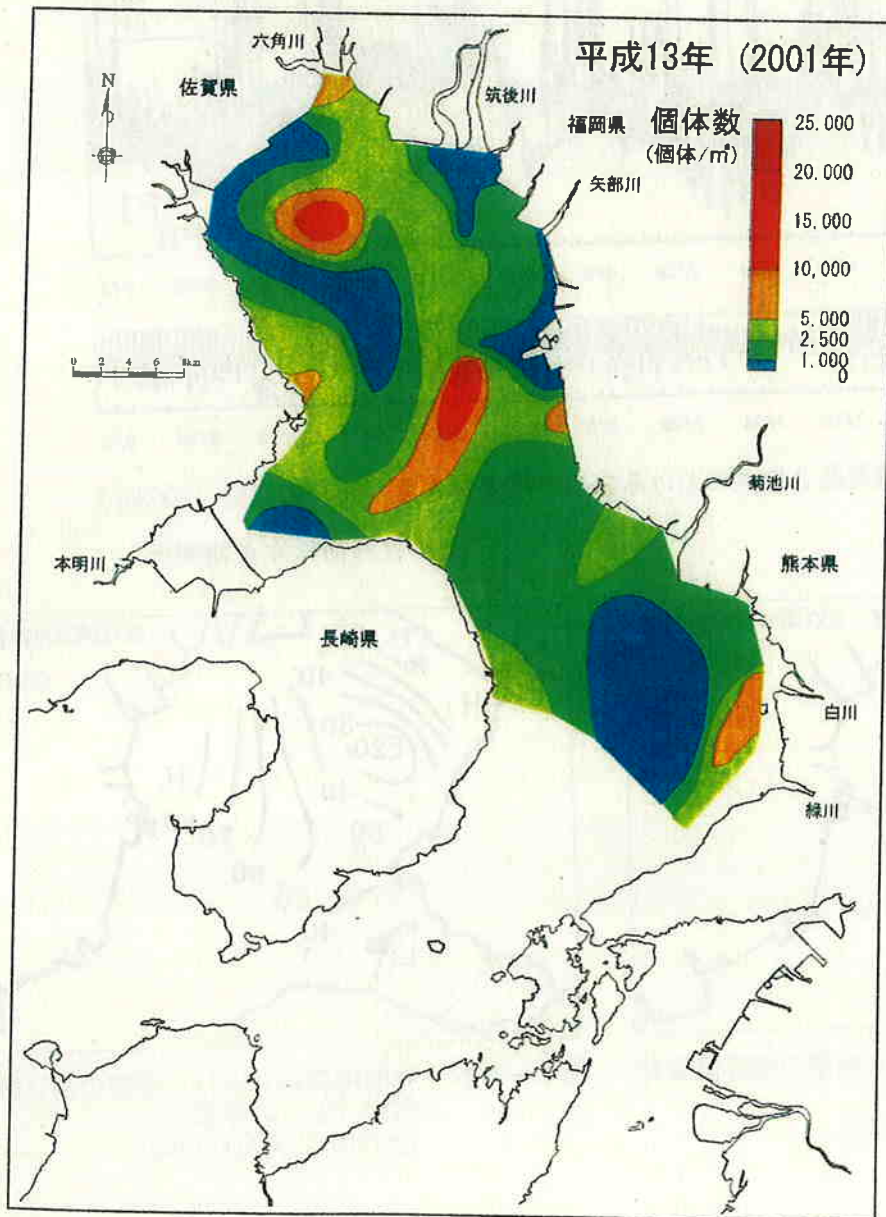


図 3.2.5 有明海の底生生物の個体数分布(平成13年(2001年))

注) 行政特別研究:平成13年6月、本調査:平成13年8月の調査結果より作成

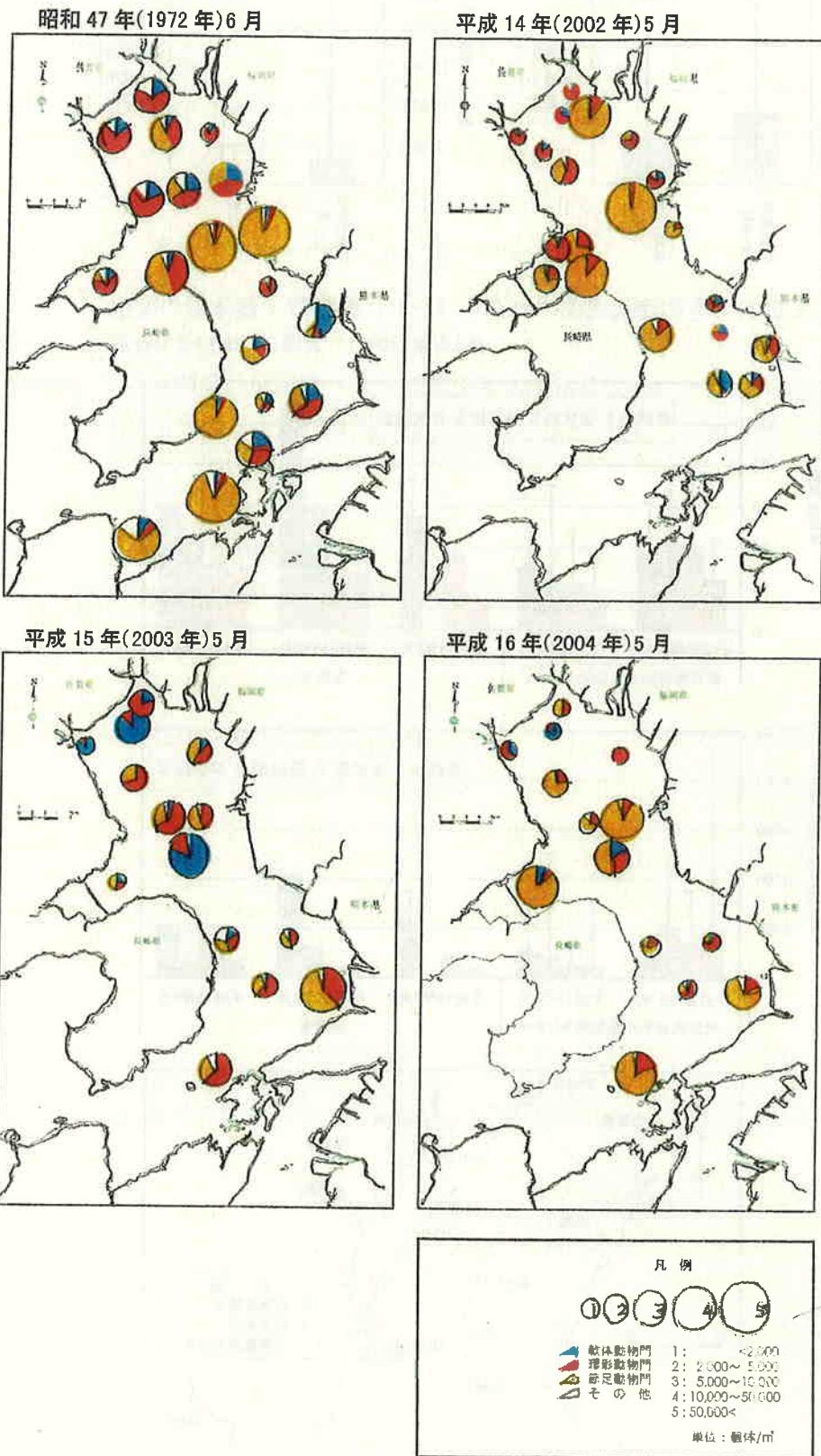


図 3.2.8 マクロベントス個体数の変化

注) 昭和 47 年は菊池(1974)、平成 14~16 年は本調査結果より作成

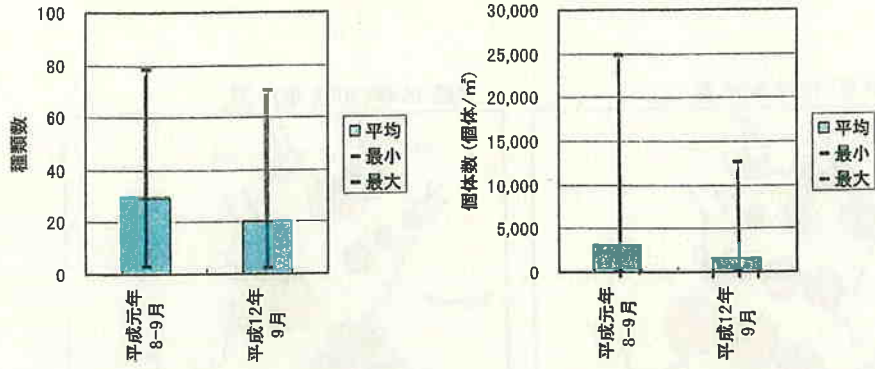


図 3.2.9(1) 有明海湾奥部のマクロベントス種類数・個体数の変化  
注)古賀(1991)、大隈ら(2001)より作成

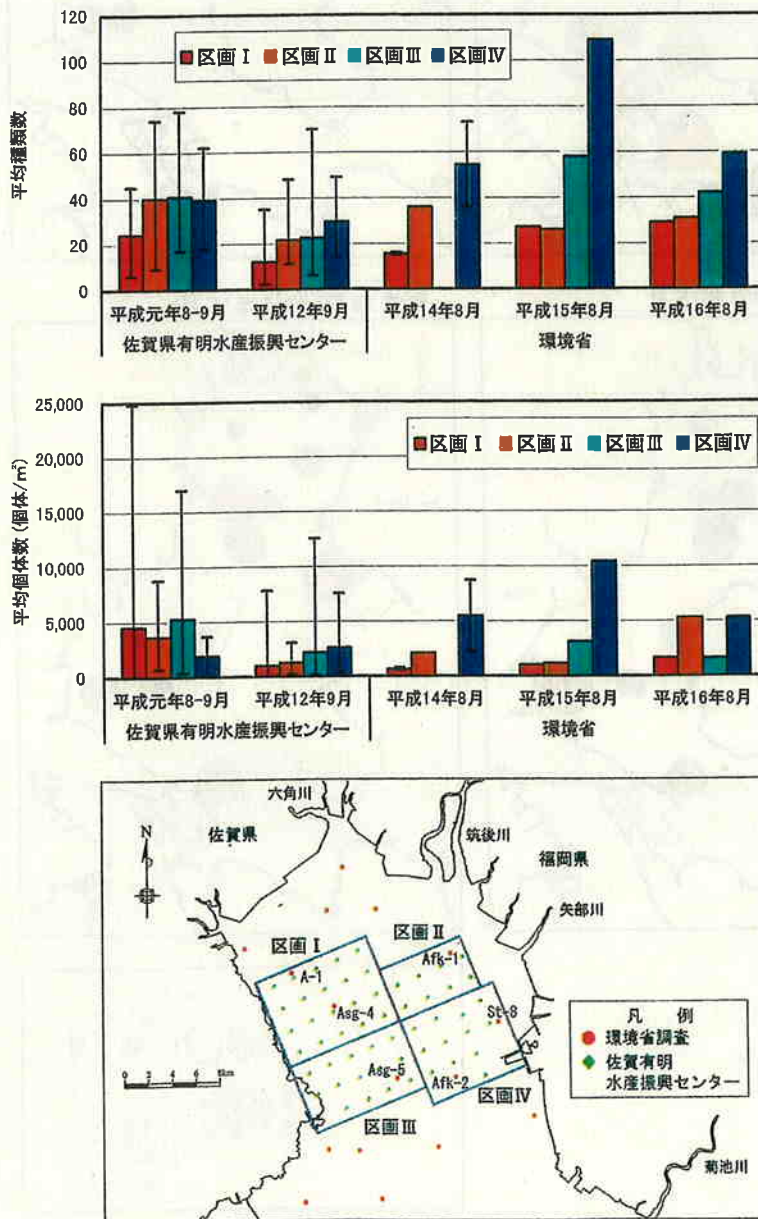


図 3.2.9(2) 有明海湾奥部のマクロベントス種類数・個体数の変化  
注)古賀(1991)、大隈ら(2001)、本調査結果より作成  
環境省の平成14年8月調査において、区画Ⅲに該当する調査点で調査は実施されていない。